

1. 件名：「GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する面談について」
2. 日時：令和3年7月15日 17時30分～18時30分
3. 場所：原子力規制庁 9C階会議室
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

止野企画調査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官、田澤審査チーム員

GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH：

設計・解析部長 他10名※

## 5. 要旨

(1) GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH（以下「GNS社」という。）から、発電用原子炉施設に係る特定機器である特定兼用キャスクの設計の型式証明申請について、現時点で日本国内における審査対応の体制整備を終えていないこと、及び整備完了時期は未定であるとの説明があった。

(2) これに対し、原子力規制庁から、引き続き、審査対応の体制整備を進めるよう伝えられた。

(3) GNS社から、了解した旨回答があった。

## 6. その他

提出資料：

- ・ 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請について（特定兼用キャスク）CASTOR® geo26JP 日本国内における審査対応体制整備に関する現状及び今後の見通しについて

以上